

行って、見て、食べて、  
感じた中国の印象！  
鋭い感性でとらえた  
感想文！

# 心と心をむすぶ虹の橋 Part3

この研修で一番心に残ったことは、万里の長城に登ったことです。バスの中でも心がワクワクしていました。バスから降りてすぐ僕らの目に入ったのは、空いっぱいにそびえる高い山々でした。

「あー、僕はこれからこの山に登るのか」と思うと、また心がワクワクしてきました。登るコースは、「きついい」と「ゆるい」の二つのコースがあります。どうしようかと迷ったけれど、思い切って「きつい」コースに挑戦することにしました。

校長先生も一緒で、五人で登りはじめました。先生が「汗をかきすぎて、あまりとばさないほうがいいぞ」と

海外研修に行つて学んだことはいっぱいある。特に日本と中国の違いです。

その一つは、信号無視です。ほとんどの人が、車が混雑している道路にどんどん出て来ます。車の前や横、

万里の長城に登ったこと

5年 大山 雄太

今回の海外研修で一番心に残ったことは、ホームステイのことです。僕たちが訪問した家庭の皆さんは、とても親切でした。自分の家族と同じように本当にやさしく接してくれました。

そのお父さんは、僕たちにアルパムと日記帳とボールペンを買ってきてくれました。ところが、ボールペンのインクが出なくて、三回も雨の中を取り替えに行つてくれました。すごく親切だなと思いました。

別れるとき、そのお父さんが、僕のほかにキスをしてくれました。なんか不思議な気持ちになりました。このホームステイでは、家族の人に本当にやさしくしてもらつて、とてもよい思い出になりました。

ホームステイの思い出

5年 目黒 涼介



ハルビン市内の家庭を訪問

学んだこと

6年 三富 萌々

と言つたので、ゆっくり、もくもくと登りました。

どんどん登っていくと、すごく急な石段がありました。みんな声をかけ合つてがんばりました。

頂上に着いて下を見たら、ぐるっと全部山ばかりで、すごいと思いましたが、またいつか中国へ来ることがあつたら、絶対に万里の長城に登ろうと思つていました。

児童発展センター訪問

6年 相馬 希

後を通つたりして、ひやひやしました。信号の形も、日本の信号より変わつていてむずかしかったです。

その二つめは、朝早くから人々が町に出歩いています。物が安く、まけてくれたりします。

でも貧しい人も多いようです。いろいろな出来事がありました。自分のことは自分で責任を持たなければ、ということを学びました。

この経験を将来に生かしたいと思います。

私が一番印象に残っているのは、児童発展センターを訪問した時のことです。

ここは、小さい時から芸ごとを指導しています。すごい技を見せてくれます。そんなすごい技の後に、私たちの出し物をやりました。ヤダナ。失敗しないかと緊張しました。全員でリコーダーの演奏をしました。また、校歌を歌いました。個人の出し物では、リコーダーの二重奏で「ラパズコンチェルト」などを演奏しました。大勢の前で二人だけで演奏するので、ものすごく緊張しました。でも、ちゃんと前を向いて間違えずにできました。すつとくはずかしかったけど、少しだけ楽しかったです。



児童公園で、私と同じくらいの子が、電車を運転していた。すごいなあと考えた。

(5年 伊藤 あかね)

児童公園の子どもの声が大きいこと、電車の中がきれいだったの、すごいと思った。

(5年 別所 あすみ)

中国の子どもの出し物が「すごすぎる！」と思った。それで、緊張して自分の名前を言い間違えた。

(5年 石塚 菜央)

児童公園で、中国の子どもたちが走つて来て歓迎してくれた。手をつないで案内してくれ、うれしかった。

(5年 佐藤 由紀)

中国の子どもの習字や絵は上手だった。出し物もレベルが違うと思った。

(5年 広川 千夏)

## ひびく感想文

中国の子どもは、体がすごくやわらかいのでビックリした。家でまねてみたけれど、できなかった。

(5年 林 百世実)

# 第3回横越町小学生海外研修報告

環日本海時代の中心都市新潟に隣接する横越町。その横越町の将来を担う子どもたちに、豊かで鋭敏な国際感覚を培いたいとの目的で実施している小学生海外研修事業。今年も、中国黒龍江省ハルビン市を中心に交流の輪を広げてきました。

今月は、子どもたちが聞きしてきたこと、感じてきたことの一部を紹介します。



ハルビン市児童公園にて、現地小学生と交流



万里の長城にて記念撮影



## 小学生海外研修日程

(新潟空港発着 ハルビン・北京6日間)

|                 |   |
|-----------------|---|
| 7月27日(金)・・・第1日目 | 9:30 役場前で出発式<br>12:15 新潟空港離陸<br>13:20 ハルビン空港着陸、ハルビン市内「児童公園」にて現地小学生と交流会  |
| 7月28日(土)・・・第2日目 | 午前 黒龍江省児童発展センターを訪問し、施設見学と交流会<br>午後 ハルビン市内観光、太陽島(新潟公園)・スターリン公園など         |
| 7月29日(日)・・・第3日目 | 日中 グループに分かれて中国の家庭を訪問し、交流  |
| 7月30日(月)・・・第4日目 | 8:30 ハルビン空港離陸<br>10:30 北京空港着陸<br>午後 北京市郊外・万里の長城を観光<br>夜 中国雑技を見学         |
| 7月31日(火)・・・第5日目 | 午前 天安門広場・故宮見学<br>午後 北京動物園見学、市内でショッピング<br>17:30 北京空港離陸<br>18:30 ハルビン空港着陸 |
| 8月1日(水)・・・第6日目  | 8:05 ハルビン空港離陸<br>11:15 新潟空港着陸<br>13:00 役場到着 解散式                         |

## 印象に残ったことベスト6

1. 中国の家庭を訪問したこと
2. 児童センターでの交流会
3. 万里の長城に登ったこと
4. 児童公園での交流会
5. 雑技団の演技のすばらしいこと
6. 中国の人たちが親切だったこと



ハルビン市内にて

## 参加者(10名)

小学5年生  
目黒 涼介(沢海)  
大山 雄太(藤山)  
広川 千夏(川根町)  
佐藤 由紀(木津)  
別所あすみ(沢海)  
林 百世実(東町)  
伊藤あかね(沢海)  
石塚 菜央(中央)  
小学6年生  
相馬 希(西ヶ丘)  
三富 萌々(西ヶ丘)

## 引率者(5名)

団長 尾身 隆平(横越小学校長)  
副団長 北原 秀文(横越小学校教諭)  
引率 松本真樹子(横越小学校保護者)  
引率 賈 曉航(黒龍江省留学生)  
添乗員 舟崎 友香(旅行社社員)